

# 鑑賞だより

NPO 法人  
岡山市子どもセンター

2017.7.28

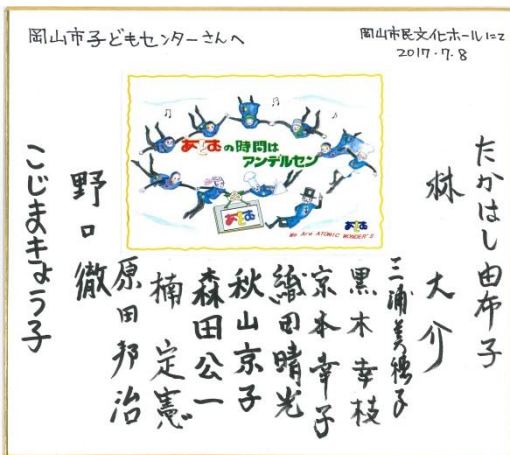
【7月低学年鑑賞会】 劇団あとむ 公演

## あとむの時間はアンテルセン

7月8日(土) 18:30~

岡山市立市民文化ホール

7月は8日間の内に3作品の鑑賞会がありました。どの日も暑かったですが、総勢850人もの参加がありました。子どもにも大人にもそれぞれの良さ、特徴がしっかりと感じられるお芝居に、感激したり、自分の受け止め方を確認したり、エネルギーをもらったりして事後交流会や感想会も盛り上がりました。



【7月高学年鑑賞会】

世界は友達！アサンテプラン公演

## 笑福亭鶴笑の爆笑寄席 ~パペット落語とあれやこれや~

7月13日(木) 19:00~

天神山文化フラザ

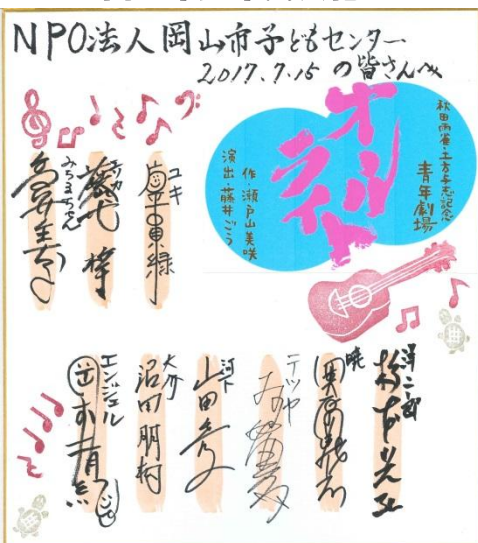
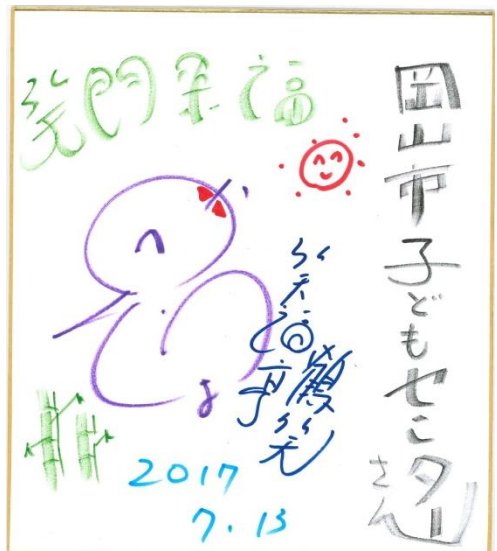
【7月特別鑑賞会】

秋田雨雀・土方与志記念青年劇場公演

## オールライト

7月15日(土) 18:00~

岡山市立市民文化ホール



色紙の当選者は、奥村裕奈さん(べっかんこサークル)、山本実咲さん(スカイブルー787サークル)です。

おめでとうございます。

お寄せいただいた感想やメッセージは後日創造団体に届けています。皆さん、鑑賞後のHOTな感想を是非たくさんお寄せください。



7月8日(土)岡山市市民文化ホール

看板は会員さんが親子で作ってくれました。



役者さん11人分のお菓子や小夜食

キーボードを弾かれながら作品のさわりをされ、見どころや劇団のことなどを聴きました。



新入会員15人を含め、約300人で観劇しました。この作品は21年ぶりに上演。懐かしんだり、驚いたり、独特のアニメムを楽しみました。



プレゼントを渡すの、とってもきんちょうしたよ。

楽しかった感想！

- ★パンをふんだ女の子がさいご、おかあさんにごめんなさいが言えてよかった。(4歳女子)
- ★ちょっとこわかったけど、ちょっとたのしかったこともあったよ。どうしてかというパンをふんだ女の子が石になったから。(小1女子)
- ★手話や歌を歌いながらやってくれたので、障害者の人でも聞いたり、見たりしやすいし、とても歌声がきれいでした。やわらかい棒とブロックだけでテーブルになったり、町になるのがすごかったです。(小5女子)
- ★役者さんがみんな魅力的でとてもおもしろかったです。もっと子ども向けかと思いましたが、大人でも楽しめました。参加して本当によかったです。(大人)



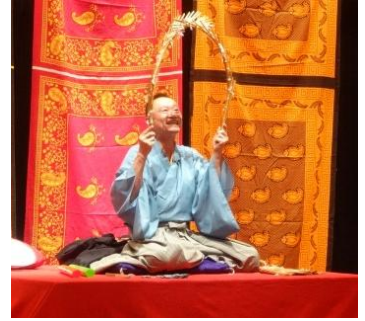


# 笑福亭鶴笑の爆笑寄席 7月13日(木) 天神山文化フラザ



古典落語からパペット落語、鶴笑さんのお人柄溢れる落語でした。「平林さんところへお仕えに行ってくれ。」「へい!」のおつかいや日本むかしばなしの声優、常田富士男さんのものまねはそっくりで爆笑! 幅広い芸風にみんなビックリ!

バックのアフリカの布が目を引きました。めくりは岡山大学落語研究会から拝借。



南京玉すだれ、東京タワーは本当に難しかったです。



紙切りで【浦島太郎】や【犬】



パペット落語。ゴジラが足から!!モスラは…

楽しかった感想!



お二人で完食されました。ケーキ  
寿司から抹茶白玉まで



トニー山本さんおすすめの「パチカ」

★知っている話もあったけど何度でも笑えてとてもおもしろかったです。紙切り芸のくまもんがすごかったです。ゴジラとモスラが戦っているところがおもしろかったです。(小4女子)

★「パチカ」の芸がおもしろかったです。落語は笑いすぎておなかがいたくて、のどがからからになりそうだった(笑)モスラVSゴジラおもしろかった(小4)

★わたしは、落語の落ちがすきですよ。はじめのおじいちゃん、おばあちゃんのお話しがほけているようだったけど、一理あるなと思いました。面白かったです。玉すだれや紙切りはすごかったから、すごく練習したんだと思いました。(小6女子)

★とてもおもしろかったです。正直言って落語の意味が分かるか不安だったんですが、パペットや身近なことなども話にあったのでとても楽しく見ることができました。そして「笑い」によって劇場内に喜びや笑顔があふれているのを見て、幸せや楽しさを心のそこから感じることができました。また、岡山にもいらしてください。(中2女子)

★たくさん笑ってスッキリしました。優しい笑いはいいですね。心が嬉しくなりました。落語は初めてなので嬉しかったです。これからも世界中の人を優しい笑いで包んでください。(大人)



主役のお二人にプレゼント♪

# オオカミ

生きる方法の一つじゃない、  
人生は勝ち負けじゃない!!

7月15日(土) 岡山市立市民文化ホール



約50名の参加者で迎えたロビー交流会



中高生から大人まで、様々な人が集い、  
感想や質問など今の感動や想いを言葉にしました。



## 【感想より抜粋】

- ★いっぱいおもしろいところがあっておもしろかった。でもちょっと勉強ようになった。いっぱい心にのこったことがあった。(10歳以下)
- ★エリカが言ったりしてたように、学校とか大変なこともあるけど、きれいごとばかりじゃなくてよかった。(11~15歳)
- ★演劇をはじめて「よかった」と思えました。今、私は職として役者になろうか悩んでいます。しかし、私は親に言う勇気も出ず、1人で心の中にしまっていました。この劇を見て、少し勇気づけられました。将来この劇をしてみたいです。(11~15歳)
- ★最初のやり取り、テンポのよさ、明るさから、主人公が夜泣いているシーンへの雰囲気への変化がはっきりとあってより感動が深まりました。実際、自分も今からどうすればいいのか分からず、悩んでいます。自分がしたいこと、できることの違いがあって焦っています。(11~15歳)
- ★親とこんな風にケンカしたい。若者をしかってくれるいい大人っていいと思った。自分の中にある感情をどう出せばいいのか少し分かった。(11~15歳)
- ★演出がとても凝っていて「ああ!ズルい!」って思う所が沢山ありました。一人の家に、沢山の人がなだれ込んで来て、最初はただ、コイツラとムツとする部分が沢山ありましたが、深くまで入っていくうちに、段々とみんなの人間味あふれる、とてもおもしろい人達だと思いました。同じ高校生として共感できる所も沢山あり、この家がとてもあたたかく見えました。(16~19歳代)
- ★とにかく前を向いて生きようと思いました。エリカに共感しました。多く言えません。言葉にできません。(16~19歳)
- ★本当にいろんな人がいるってことも分かった。いろんな年代の人がいるから、大人の世界とか未来とかすごく学んだ気がします。「今、何がしたい」って言葉が、今日の自分にグサッとささりました。(16~19歳)
- ★中学生の娘と鑑賞しました。思春期の自分にとまどい、未来への不安や希望など、色々な感情や思いをいっぱいかえたこの時期に、この作品に出会えたことは娘にとって心にとどまるものになるのではと思います。(40歳代)
- ★楽しいながらも一人ひとりの人間のあり方を考えさせるよい芝居でした。(50歳代)
- ★どの世代の人が観ても、それぞれの立場で色々な事を考えさせてくれるストーリー。若い人に苦手な私の心の壁も少し低くなりました。「今やりたい事をやっていく」それは私の信条でもあります。笑ってタツプり感動の涙です。(60歳代)



## 感想会をしました

### 感想会&めん流し

7月9日(日) 10:30~13:00 岡南公民館 (子ども13人 大人7人)

「あとむの時間はアンデルセン」の次の日、感想会を兼ねてめん流しをしました。「楽しかった」「楽しかったけど、悲しかった。」「舞台に近い席だったので、演者の緊張が伝わってきた」「子どもが物語に引き込まれ、『馬に乗ってないじゃん。』と、つつこみをいれていた。」「歌声が素敵だった。」などなど、それぞれに感じたことを話しました。

その後、めん流しをしました。

そうめん、細めん、うどん、ゆで卵、うずらの卵、オクラ、キュウリ、ゼリー、くじ…。流す人、溜まった水を捨てる人、大人の役割が自然とでき、賑やかに食べる子どもたち。お腹がよくなったら今度は高学年の人が流してくれ、大人も忙しく食べました。

最後に、すいか割りをして盛り上がり、美味しく食べて解散しました。



幼稚園も居住地も違うけれど、鑑賞会の席が隣だった人との出会いがあったり、中学生のお姉ちゃんの手膝に座ってお話している幼稚園の女の子がいたり。

洗い物をしながら『ある母親のものがたり』の最後はどういう事だったのかな〜?』と、お母さん同士で話をしていました。みんなが集まることで、顔見知りになり、つながっていくことを感じました。



### 感想会&親子でカレー作り

7月21日(金) 16:30~20:00 御南西公民館 (子ども24人 大人12人)

参加者親子で「カレー作り」をしました。子どもたちは日頃お家ではなかなか使えないピーラー、包丁を使って、材料の準備をしました。カレーをグツグツと煮ている間に、別室に移動して感想会をしました。

4つのお話の中で、印象に残っていることを尋ねると、子どもたちのほとんどは『とうさんのすることはみんなよし』でした。お母さんたちの感想では『マッチ売りの少女』は、子どもの頃は可哀そうな死だと思っていたけれど、今回観てあの女の子は、幸せな思いでおばあさんのところに逝ったのかな。と思えた。』『とうさんのすることはすべてよし』では、お父さんを許せるかな?あんなに許せる奥さんはすごいと思った。』などなど。『ある母親のものがたり』は深い話だった、子どもをどう受け止めるか。』など、みんなで思ったことや感じたことを話しました。

その後、9月鑑賞会の「ともだちや~あいつも友だち~」に向けて「ともだちごっこ」の絵本をお母さんたちが、1ページずつ子どもたちに読み聞かせをしました。

最後に、待ちに待ったカレーをみんなで美味しくいただきました。この時間はいいなと大人の感想でした。



7月28日(金)京山公民館での感想会の様子は、次回お知らせします。

## 《7月鑑賞会当日のお楽しみコーナー》

今年度の鑑賞作品の中から、親子で観たい作品にシールを貼るコーナーを作りました。

\*御南・西ティンカーベルサークルの若いママたちが集まっているいろんな話の中から生まれました。

どんなふうにしたら  
楽しく貼ることができるかな？

舞台作品ごとに楽し  
くシールを貼りたいよね。

親子で作品選びを  
しながら会話を楽し  
んでほしいよね。

作品のイメージができる絵  
を描いて、そこにシールを  
貼るのがいいよね。



\*当日は、こんな様子が見られました。

係りの子どもたちはとても張り切っていて、少し離れた階段まで行って、シールを渡すために階段まで行ってシールを渡していました。どうすればよいかわからない親子に、その場で「楽しみにしている作品にシールを貼ってください」と説明していました。係りをやりたいという気持ちがいっぱいの子どもたちでした。



\*親子の会話エピソード

### 7/8 『あとむの時間はアンデルセン』の会場2階にて

- ・子どもが、「これ、みたい」と指さしていると、親が、「じゃあこれ、次、観ようか？」と『ともだちや』のポスターを見ながら楽しそうに話していました。
- ・子どもはチラシでしか見てないから、この作品ラインナップはいいなと思います。子どもが行ったり来たり眺めて楽しんでいることが伝わってきました。
- ・「ねえ、どれにする？」と子どもに聞いているお母さんの顔が笑顔で優しくでした。

### VII/13 「笑福亭鶴笑いの爆笑寄席」会場にて

- ・観る前はオペラ『銀のロバ』に人気がありましたが、終演後には『笑福亭鶴笑いの爆笑寄席』にシールを貼る親子が多くて笑ってしまいました。
- ・大人が、「シールを貼るボードがきれいアート作品だわ。」と感心していました。
- ・子どもが貼っていると「それなの？」と言って、笑っている親子の姿もありました。